会員のひろば

私のお薦めコーナー
見晴らしのよい公園の小さな植物園

知 本 康 男

今年の桜は早かったですね。札幌ですと平年より11日も早い開花だったようです。毎年、私は大型連休の後半、春スキーの帰路に小樽に立ち寄って桜見物する機会が多く、おもだった鑑賞ポイントは小樽手宮公園、長橋なえぼ公園、花園公園など、みな市民に親しまれた絶好サイトです。穴場としては奥沢水源地跡、水天宮、天上寺などがお勧めです。

さて、例によって今年もGW後半に小樽手宮公園に足を伸ばしてきました。公園内には小樽市が運営管理する『手宮緑化植物園』という施設があり、斜面を巧妙に利用した手入れの行き届いた園庭が実に見事に整備され、四季を通じて楽しめる心休まるゾーンです。園内には緑の相談所が常設されており、園芸ファンが集う場となっています。

写真-1　手宮緑化植物園内に常設の『緑の相談所』

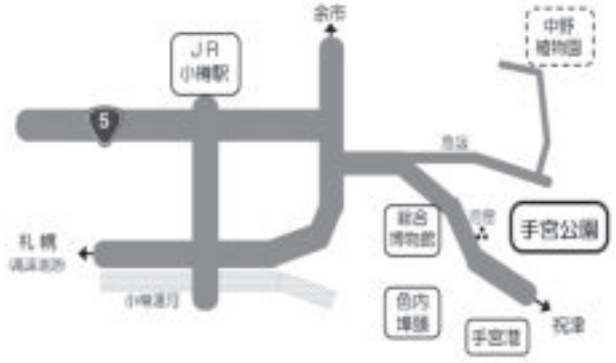
もともと手宮公園は港を見下ろせる公園としての絶景が有名です(小樽市重要眺望地点)。小樽湾を挟んで対岸を遠望すると、銭函から厚田まで続く石狩低地の汀線がきれいに追跡でき、視界が良い日にはJRタワーも発見できます。また、残雪山地の稜線に目を凝らすと札幌国際スキー場の山頂駅に吸い込まれるゴンドラも見えますよ(勧双眼鏡持参)。

写真-2　公園からの見事な眺望

丘からの眼下には手宮洞窟があり、手宮港周辺には古い産業施設も残存しており、その手のマニアには堪りません。また、鉄道遺産を管理する小樽市総合博物館や巡視船が係留する色内埠頭など、これまたマニアを唸らせる必見サイトが近接しています。

写真-3　マニア必見の近傍施設

最後に本当にマニア向けの情報です。手宮公園から徒歩で移動できる距離に私設公園『中野植物園』があります。ちょっと入園をためらってしまう門構えですが、静寂な素朴さが売りのようです。是非一度トライしてみては如何でしょう。



知 本 康 男(ちもと　やすお)
技術士(建設／応用理学／総合技術監理部門)

基礎地盤コンサルタンツ(株)　北海道支社